

おはようございます。

おはようございます。明日から2月ですね。

「35」この数字はなんだか分かりますか。正解は、今の学年で、お友達と一緒に勉強する残りの日数です。6年生は33日です。3学期はあっという間過ぎていきます。次の学年で良いスタートが始められるよう、残りの日々をがんばっていきましょう。

みなさん、食べ物の好き嫌いってありますか？校長先生は実は小さい頃はブロッコリーが苦手でした。それが出されると、がまんして食べていたのですが、あるとき友だちから良い方法をききました。さて、どんな方法だと思いますか？結構みなさんもしているかと思いますよ。少しまわりの人と聞き合ってみてください。

そう、鼻をつまんだり、目をとじたりすると、少しは楽に食べられますよね。あれ？でもよく考えますと、味は身体のどこで感じますか？そう舌ですね。でも鼻をつまむと味が少しわからなくなって、目もとじるともっとわからなくなります。どういうことなのでしょう？まわりの人と聞き合ってみてください。

実は、舌、鼻、目さらには耳も、これ全部つながっているのです。電車に乗っていて長いトンネルに入ったとき、耳がつんとします。そんなときはつばを飲み込むとなおります。耳と口がつながっているからです。

また、いまこうしてみなさんの方を見て校長先生は話をしています。これが、後ろを見てお話ししたらどうでしょう？なんだかおかしいですよ。逆に、みなさんも今校長先生を見てお話しを聞いているかと思いますが、これをよそをみながら聞いてみてください。なんだかお話しが頭に入ってこないですね。

「人の話は目で聴きなさい。」といわれますが、こういうことなのですね。人が話を聞くというときは、耳だけではなく、目とつながっている、しっかり話している人を見て聴くことがとても大切なのです。

さらに、目で聴くときのコツをお話しします。相手の方を観て聴くときに、「へえそうなんだ」と、心の中でつぶやきながらうなずいたり、お話ししている人が「一番お話ししたいことは何かな」「自分に一番聞いてほしいことは何かな」ということを探したり想像したりしながら、相手の話を分かってもらう気持ちで、その人に心を寄せて聴くということです。

そうすると、目でお話しが聴けている人は、心でも聴いているので、どうなると思いますか？自然と「うなずき」ながら聴いています。今も、真剣にお話しが聴けている人はうなずいていると思います。

このことは漢字からもわかるのですよ。「耳」これは1年生でも習いますよね。そして「聞く」これは2年生で習いますが、耳しか入っていません。でも、今いいましたように、人の話を聞くときは、耳だけではなく、目も使うから心に届くのです。これらの漢字を全部足しますと、聴くという中学校で習う漢字になります。

さあ、きょうから皆さんは、耳だけで聞くのではなく、目と心も使って聴けるようになりましょう。

今週の木曜日は2月3日は節分で、暦の上では春になりすが、まだまだ厳しい寒さが続きます。オミクロン株に十分気をつけて過ごしましょう。

これで校長先生のお話しを終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。また、お話しのご感想を校長室前のボードにつぶやいてみてください。